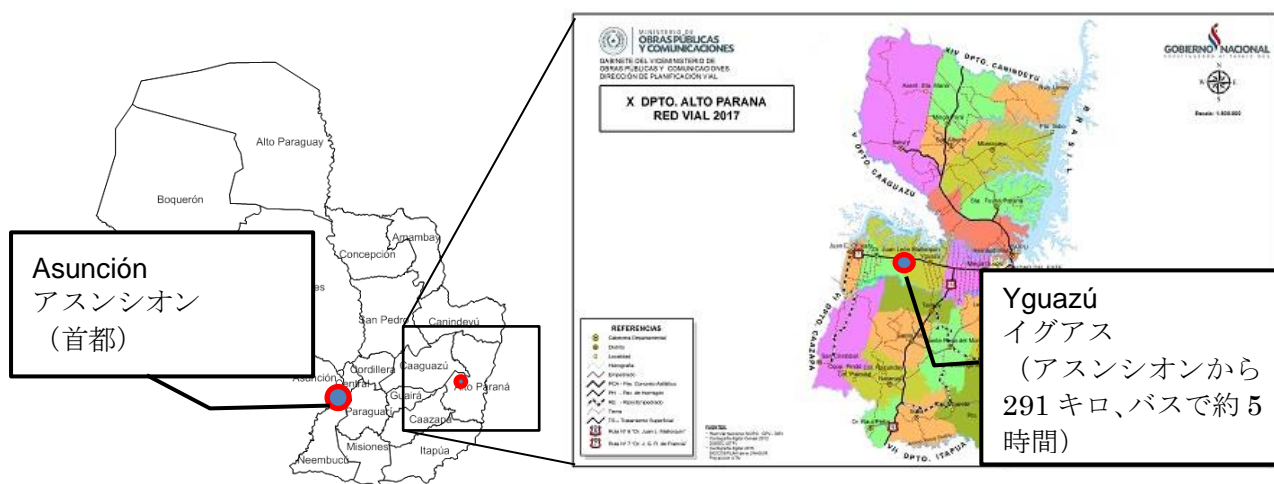


パラグアイ農牧総合試験場
(Centro Tecnológico Agropecuario del Paraguay (CETAPAR))

JICA パラグアイ事務所

1. 概要

住所 : Km 45 - Ruta N° 7. Dr. Jose G. R. de Francia. Distrito Yguazú - Alto Paraná.
Paraguay



パラグアイ

管轄省庁 : なし (日系セタパル財団により運営)

主たる業務 :

- (1) 優良種子生産・(公的認証の上) 販売業務
- (2) 土壌・植物体等の分析業務
- (3) デュアルシステム (理論と企業における研修で構成) を活用した農業技師の育成
- (4) 圃場試験
- (5) 試験研究 (営農普及に必要となる試験研究に限定)
- (6) 地域社会貢献活動

その他

- ・ 帯広畜産大学がパラグアイオフィスを構内に設置 (2016年12月～)。
- ・ 農牧関連企業の団体が、試験圃場を活用し展示会を実施 (2017年3月)。

ホームページ (スペイン語) : www.cetapar.com.py/

Facebook（スペイン語）：<https://www.facebook.com/cetapar.com.py/>

参考：国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター（JIRCAS）とダイズさび病抵抗性品種の育成を行っている。

https://www.jircas.go.jp/ja/program/program_b/b4

2. 現状/歴史

現在は、日系農協中央会、生産協同組合連合（FECOPROD）に、アルトパラナ及びイタプア両県内の 8 農協で構成される UNICOOP 協同組合中央会（UNICOOP）を加えた 3 機関より出資を受け、3 機関が経営する日系セタパル財団により運営されている。

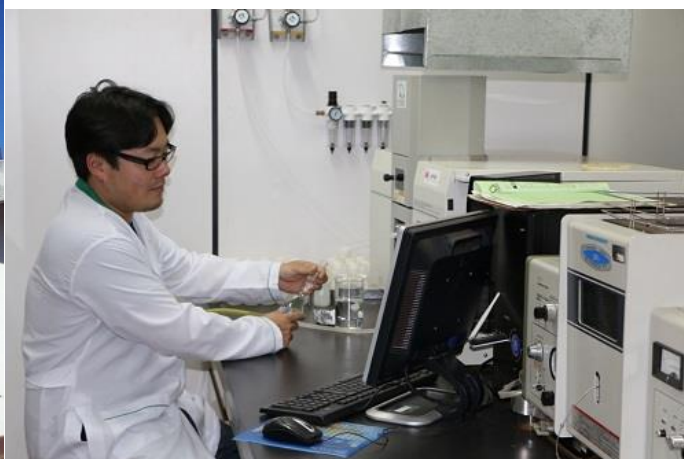
なお、パラグアイ農業総合試験場の原点は、戦後開設された JICA 直営移住地（ラパス、ピラポ、イグアス）において日系移住者の営農技術を支援する目的で設けられた指導農場が、統合・再編を経て、1985 年にイグアス移住地にパラグアイ農業総合試験場として改組された JICA 直営の試験場であり、2001 年より技術協力プロジェクトとして運営されてきた。その後、2010 年に JICA の手を離れ、日系農協 5 団体で構成される日系農協中央会へとその機能を移管した。



幹線道路沿いの看板



管理棟



研究室外観



研究室内部



野菜栽培施設



野菜栽培試験圃場



場内道路・試験圃場（全体で約 100ha）

農業機械



帯広畜産大学とのプロジェクトサイト（場内）

搾乳エリア

また、外部からの訪問者及び研修受講者が宿泊できる宿泊棟（30名が宿泊可能）がある。

3. 過去の協力実績

(1) 「農業総合試験場」（日本人移住者支援の施設）

- ① 協力期間：1962年～2000年
- ② 内容：移住援護の一環として開設され、様々な試験研究と営農指導・普及を実施。

(2) 「農業総合試験場プロジェクトフェーズⅠ及びⅡ」（技術協力プロジェクト）

- ① 協力期間：2001年4月1日～2005年3月 / 2005年4月1日～2010年3月31日
- ② 目的：パラグアイ農業総合試験場をパラグアイ国東部地域における農業振興の拠点として基盤整備する。
- ③ プロジェクト概要
上記期間中に、場長/チーフアドバイザー、次長/業務調整を中心とした専門家を派遣する等の活動が実施された。
関連情報は、以下のページ（ODA 見える化サイト/JICA ナレッジサイト）でご覧いただけます。

ODA 見える化サイト：<https://www.jica.go.jp/oda/project/0603615/index.html>

JICA ナレッジサイト：

<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/9A74E4B6C788E61B492575D10035ADF3?OpenDocument&pv=VW02040102>

(3) 「東端畑作地域・酪農技術向上支援」（草の根技術プロジェクト）

- ① 協力期間：2011年～2016年
- ② 目的：モデルファームとなる酪農家（指定酪農家）の経営を改善し、他の農家の酪農経営モデルとする。

<https://www.jica.go.jp/project/paraguay/008/index.html>

(4) 「東部地域・酪農振興のための農業研修拠点の形成と人材育成支援」（草の根技術プロジェクト）

- ① 協力期間：2016年～2020年
- ② 目的：対象地域のターゲット農協が、日系セタパル財団の研修機能を活用した人材育成システムを確立し、農家指導体制が強化される。

<https://www.jica.go.jp/paraguay/office/activities/08.html>

(5) 上記以外のプロジェクト

ボランティア派遣

分野	派遣期間	備考
農業生産技術	2008. 9-2010. 9	

化学・応用化学	2010. 1-2011. 2 2013. 3-2015. 9	
病虫害対策	2010. 9-2012. 9	

以上